

旅客の運賃の改定に関する調書 【高速バス・空港バス関係】

記載例

高速バス・空港バス路線を運行する車両に関して、あらかじめ計算シートへの入力によって算出した、「対象車両台数」、「実施運賃平均改定率」を入力してください。

(補助要件)

- 道路運送法第3条第1号イに規定する『一般乗合旅客自動車運送事業』にかかる車両
(「定期観光運送」を除く)
- 路線バス事業等の用に供されるもの
- 大阪府の区域内に所在する営業所に配置されているもの
- 自動車検査証に記載された「使用の本拠の位置」が府の区域内となっているもの

以下黄色セルに、「対象車両台数」と

→ 計算シートにより算出した「対象車両台数 総計」を 対象車両台数 に入力してください。

●『計算シート(まとめ)』により算出された

「対象車両台数 総計」を 対象車両台数 に入力してください。

「平成XX年 年度」

「平成XX年 年度」へハッシュしてください。

・ 対象車両台数

10

台

・ 実施運賃平均改定率

5.00

%

↓ 上記項目の入力により、補助金額
〔 改定した額のうち、燃料費見合 〕

●『計算シート(まとめ)』により算出された

「平均改定率」を 実施運賃平均改定率 に入力してください。

《1》上記平均改定率に伴う燃料費支拂額を算出

$$120.9 \text{ 円/L} - 104.8 \text{ 円/L} \times \left(1 + \frac{5.00}{100} \right) = 10.9 \text{ 円/L} \dots ①$$

↓ 実施運賃平均改定率

〔高騰価格〕 〔基準価格〕

※小数点以下第1位にて四捨五入

《2》《1》により算出した単価(①)から、「1台あたり補助単価 [千円/台]」を算出

$$24,000 \text{ km} \div 5 \text{ km/L} \times 10.9 \text{ 円/L} \div 1,000 = 52 \text{ 千円/台} \dots ②$$

〔6ヶ月走行距離(想定)〕

自動計算により算出された申請金額(千円)について、

『補助金交付申請書(様式第1号)』の3.申請金額②へ記入してください。

【 補助金額 】

52 [②]

千円/台

× 10 台

=

520

千円

申請金額

※ 上記にて算出された申請金額を、『補助金交付申請書(様式第1号)』の3.申請金額②へ記入してください
(入力内容は、以上になります)